

おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物

◇1・4～6面:シンポジウム「国際憲章と憲法を生かした日本外交を」◇2面:「かけがいのない地球で世界の子供たちに平和を」を聞いて◇3面:ベトナム旅行へのお誘い◇7面:世界の街からこんにちは

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F
2024年 8月1日 No. 618



7/14 シンポジウム 右下/パネリスト君島氏・笠井氏 右上/富田氏

シンポジウム主催3団体は、開催に先立ち、米国、ASEAN加盟国インドネシアなど13の在阪総領事館を訪問。英訳を添えた要請書を手渡し、シンポジウムへの参加要請を行いました。「出欠については東京の大使館が判断」との領事館もあり、結局領事館からの参加は実現しませんでした。大阪AALA常任理事の安井倫子さんによる英文の要請書作成や、在阪総領事館訪問など、今後、国際的催しに取り組み上で貴重な経験となりました。

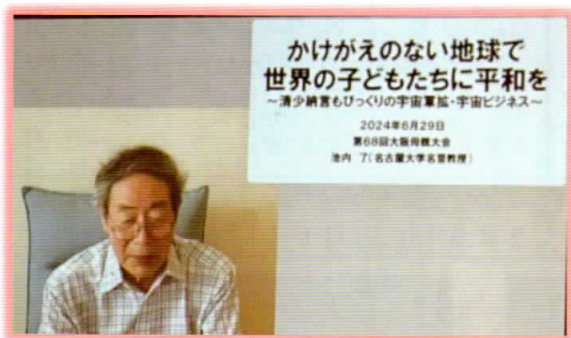
当日の司会は安井倫子さんが担当。大阪平和委員会会長の西晃弁護士が冒頭、トランプ元大統領銃撃事件に触れ、「民主主義を脅かす許しがたい事件」であるが「銃器の保有・所持・行使の規制を一貫して否定してきたのもトランプ氏を中心とする共和党政権であり」皮肉な一面も伺える」と指摘。「ガザやウクライナでの力でねじ伏せ武力で圧倒する戦争にも私たちは冷静に事実を見極め、議論を続けること、また我が

大阪AALA・大阪平和委員会・大阪革新懇共催で
7月14日 平和のためのシンポジウム
「国連憲章と憲法を生かした日本外交を」開催

国の平和に寄与し大きな原動力である憲法9条を大切にし、『全世界の国民は等しく恐怖と缺乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する』との憲法前文を改めてかみしめる必要がある」と挨拶。

コーディネーターの関西学院大学教授富田宏治先生は、「軍事的抑止力の維持が、軍事対軍事の対立を深め、世界は中世に戻っているようだ。対話と熟議による平和外交を繰り返し、世界の近世を前に進める必要がある」と述べ、パネリストの君島東彦先生・笠井亮衆議院議員へと引き継ぎました。

会場発言では、原幸夫さんが日中韓・高中生による交流キャンプについて報告、また、大阪AALA代表委員で茨木診療所所長、安達克郎先生が民医連有志による韓国緑色病院との長年の交流について発言し、青年と市民による国際交流の意義が確認されました。(パネリスト報告は4～6ページに掲載)




6月29日(土)クレオ
おおさか中央で第68回母
親大会が開催されました。
池内了さん(名古屋大名譽
教授・天文学者)の講演の
感想をAALA会員の西野
卓嗣さんが寄せてくださ
いました。

第68回大阪母親大会

池内了先生のお話

**「かけがえのない地球で
世界の子供たちに平和を」を聞いて**

AALA会員 西野卓嗣



開幕最初、先生の講演がリアルではなく、ビデオ講演に変更になったことが知らされると、会場から呻きのようなよめきが広がりました。

話は「宇宙138億年の営み」というタイトルで、宇宙は変化しないように見えるが輪廻転生しているという壮大なお話から始まりました。誕生して46億年になる太陽は、元はガスが集まってできたものだが、だんだん重くなり、その中心では核融合が起り、その温度は1億度を超え重くなっている。星が重くなると中心部で各元素が作られる。そして重い星は最後には爆発してガスに戻っていき、これがまさに輪廻転生だと言われるのです。太陽



と同時に生まれた我が地球でもいろいろな元素が生成され、その元素から偶然人間が誕生したとのことで、このお話は理系の私には大変興味深いものでした。

そのように奇蹟的に出現した地球とそこに誕生した人間。その人間が今このかけがえのない地球に危機をもたらしている。近年宇宙

の軍事利用が叫ばれた。しかし軍事は人と資源の無駄遣いである、とのことでした。

次いで「戦争に抗する」と題し、第2次世界大戦での日本の総括について、話されました。日本が戦争に負けた理由は、責任観念の欠如、低い道義心、科学的精神の未発達、神との関係が言われているが、先生はさらに国権が人権を卓越する精神構造(お国のために・・・)と、専門家へのお任せ体質(科学技術の軍事転用への危機)を追加されました。

また軍事化する日本の危険性、日本が武力を強化すれば敵の攻撃を抑制できるか、いや逆である。敵はより強い武器で対抗してくる、との指摘もありました。

ここは軍事力ではなく人間力による戦争の抑止を目指すべきである。ウクライナのジャーナリストの言葉に「最悪の平和であっても戦争よりはまし」が



あるがまさにそうである。最後に「命に勝る正義なし」「平和に勝る戦争なし」という言葉でくくられました。地球の起源から世界平和を説かれる池内先生の奥深さの一端を知ること、我々の今後の指針を得たような気がしました。

2025年2月実施 大阪AALA企画
ベトナム旅行への誘い いさな



来年(2025年)はベトナム解放50年にあたります。

「ベトナム」と聞いただけで青春の日々がよみがえる方々が多いのではないのでしょうか。私は当時のニュースをとて身近に感じて受けとめていました。というのは、私の従兄が朝日新聞の特派員をして連日記事が報道されていたからです。

その時、ベトナムではやはり戦争の実態を報道していたのが鈴木勝比古さんです。鈴木さんは昨年、「本多勝一と歩いた道をたどる」という記事を週刊金曜日に書いています。当時、本多勝一はベトナム語を十分に使えなくて、鈴木さんを頼っていたそうで、私は「二人ともよくぞご無事で!」と今こそ思います。

その鈴木さんがこの旅行にコーディネートとして参加してくれます。あの時代。そして50年たった今。さて、これからのベトナムは...ベトナム戦争の最初から終わりまで見続ける記者は他にいません。

ベトナム人が日本に働きに来ていますが、アジアの中では一番多いと聞いています。両国間はますます長いつき合いとなるでしょう。

鈴木さんには普段行かないような所に行ったり、会ったりしてもらおうとJUI観光の尾川さんとプランを練っています。多数のご参加を呼びかけます。

鈴木勝比古さんから大阪AALAに寄せられた旅行プラン
このプランをもとに旅行コースを検討中です。

<ハノイ>

- *ベトナムの独立の起点となったハノイ市民劇場 (旧オペラ座)
- *バディン広場 (独立宣言、ベトナム政治の中心地)
- *ホーチミンの執務室
- *歴史的建造物の一柱寺
- *枯葉剤被害児と被害兵士を治療する友好村訪問

<ダナン・ホイアン>

- *「海のホーチミンルート」の作者、作家グエン・ゴック氏の自宅兼研究所を訪問

<クアンガイ省>

- *ソンミ博物館見学 (可能なら館長との意見交換)
- *ドゥクフォーの野戦病院で活躍し米兵に射殺された女医ダン・トゥイ・チャム記念館訪問。
- * (体力のある人は) 少数民族フレ族の青年のバイクで野戦病院跡見学

<ホーチミン>

- *戦争証跡博物館
- *統一会堂
- *郵便局見学
- *郊外のアオザイ博物館見学 (館長と意見交換)
- *ベトナム戦争時、コンダオ監獄などで不屈にたたかった元政治囚のうたごえチームと交流



国連憲章と憲法を生かした日本外交を —対話かミサイルか!—東アジアの 平和構築のために何が必要か—

7月14日に大阪革新懇・大阪平和委員会・大阪AALAの三者共催による平和シンポジウムが行われました。開学教授の富田宏治先生がコーディネータを務め、君島東彦先生(立命館大学教授)と笠井亮衆議院議員(日本共産党)の二人がパネリストとして「なるほどな」と思わせる問題提起をしてくださいました。またフロアからは、「東アジア青少年歴史キャンプ」と「韓国緑色病院との草の根交流について」の報告がありました。参加者はオンライン参加を含め約一五〇人でした。以下、パネリスト二人の発言を紹介します。



君島東彦先生

平和外交の担い手は どこにいるのか

立命館大学国際関係学部教授・国際平和ミュージアム館長 君島東彦先生

1、戦後日本外交の原点としての国連憲章・日本国憲法

日本国憲法の精神は9条と前文がセットです。9条の非武装日本の安全は誰が保障するのかというのは憲法前文にあります。『日本国民は、…平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した』ここに憲法の安全保障の考え方があります。『平和を愛する諸国民の公正と信義』は何を意味するか。これはあきらかに「国連」のことです。非武装日本の安全は国連によるという考え方は、軍事同盟に依存する安全保障ではなくて、全ての国家を包摂して、その全体の枠組みの中で安全を確保するという考え方が国連による安全保障という考え方は、しかし、その安全保障は冷戦以降、機能しなくなります。そのため「国

連による安全保障」という考え方をわたしたちは今どう発展させるのかというのが問われています。軍事同盟に依存しない安全保障がないと9条は衰退します。

2、冷戦による日本外交の変容

連合国の占領中に米ソ冷戦が進行し、憲法が当初予定した国連による安全保障は実現しませんでした。占領が終わるまでには日本政府は、国連による安全保障ではなくて日米安保体制によって日本の安全を確保する方向へ向かいまわりました。1951年の2つの条約(連合国との平和条約、日米安保条約)によって、日本は西側同盟の一員として国際社会に復帰しました。ここから戦後の日本外交は規定されてきました。

3、米国との関係とアジアとの関係

戦後日本は、アジアの国々とは国交正常化したけど安定した関係は作れませんでした。作れなかったからアメリカに依存しました。戦後の日本は米国に対しては従属的だが、旧植民地に対しては優越感、差別意識を保持し続けて、帝国意識を残存させました。

4、「安保村」という権力複合体

「安保村」とは、日米の政治家、財界、学者、メディア、司法がつくる権力複合体です。アメリカ政府が日本政府の中にいるんです。だから外交と言っても実は内政です。ワシントンDCの戦略国際問題研究所(CSIS)は日本政府に対する提言を出しています。日本政府は驚くほどのこの提言通りやってきました。

5、「軍事的抑止」でなく「共通の安全保障」を

「共通の安全保障」の典型例は、冷戦期の欧州において、中立国フィンランドのイニシアティブで、敵対関係にあったNATOとワルシャワ条約機構の双方の加盟国を包摂してつくられた欧州安全保障協力会議(CSCE)です。「共通の安全保障」の考え方は現在、国際平和ビューロー(IPB)というNGOが中心になって、欧州においても、東アジアにおいても強く主張されています。

6、マルチトラック平和外交

「マルチトラック外交論」というのがあります。政府、非政府の専門家、一般市民、大学、市民運動などの9つの主体トラックが外交の主体となりえます。東アジアの安全保障のためにわたしたちは独自の行動を取れると思いません。大学も外交の主体です。学年の留学も外交の主体です。

7、東アジアをつなぐ研究者、学生たち



立命館大学の君島ゼミは2011年から上海の復旦大学の学生たちと毎年、平和対話を行なってきました。2018年から韓国のキョンヒ大学を加えて、日中韓学生平和対話をやっています。これはささやかなものですが、このような学生平和対話のようなものを200回も300回もやる必要があると思っています。

8、沖縄県の地域外交・自治体平和外交

マルチトラック外交の1つとして自治体外交があります。沖縄県は積極的に自治体外交を行なってきました。万一「台湾有事」が起きた場合、沖縄は再び戦場となります。この危機感が沖縄県は地域外交基本方針を策定しました。このようなものが東アジアにおいて武力衝突等の不測の事態を防ぐための地域外交です。

9、東アジア共通の安全保障を準備する

9条を活かすとは、「共通の安全保障」がどれぐらいあるかによるわけです。これは大変な課題ですけど、作る努力がわたしたちには必要だと思えます。9条を擁護するということは東アジアに「共通の安全保障」の枠組みを作ることです。

とことん外交による 平和づくり



笠井亮さん

日本共産党「東アジアの平和構築への提言」ASEANと協力して

日本共産党衆議院議員・国際委員会副責任者笠井亮さん

今は地球アラートの状況。気候、戦争、核のリスク、人類の生存をかけた対応が求められている。戦後80年に向かう今、国連憲章と日本国憲法の原点に立ち返る時。そのため、今年の4月に「東アジアの平和構築への提言」を出した。

1、なぜ「東アジア平和提言」を発表したか

①今日の情勢下では、軍事的「抑止力」強化の動きに対する抜本的な平和的対案が必要だ。外交とは、国連憲章と国際法にもとづき、粘り強い対話で共通点を見出し、とも

に解決すること。どちらかが一〇〇%得るのでなく、対等・平等・相互尊重の精神で、全関係国の利益もたらすため、特定国を排除するブロック的対応でなく、全ての国を包み込む包摂の論理を貫くことだ。②軍事同盟への賛否を超え緊急に実現すべきことで、軍事同盟国とも可能な協力を追求するという立場。全てを包摂する立場から、中国封じ込めや排除があつてはならないし、米国排除も適切ではない。

◆ASEANは「世界平和の一大源泉」となっていて「世界で最も成功した地域機構」の一つ

①良い「対話の習慣」を育んできた

ASEAN10カ国は民族も宗教も社会体制も多様な中、「紛争を絶対に戦争にしない」という立場で、年間1000回〜1500回の対話をしてきている。

②「ASEANの中心性」を堅持してきた

「大国関与を歓迎するが、一方の側に立つことはしない」という自主独立と中立の立場を貫き、「運転席」には常にASEANが座っている。

③平和構築と経済協力、社会・文化協力を一体に取組んできた

④平和の地域協力の流れを域外に広げてきた

⑤「核兵器のない世界」に向けた先駆的役割をはたしてきた

3、第2の提言II北東アジアの諸問題の外交的解決をはかり、東アジア平和共同体をめざす

北東アジアには、

①軍事を含む大国間の対抗と分断が憂慮すべき事態となっており、「対話の習慣」が不足。



▼原幸夫さん 日中韓・中高生による交流キャンプについて報告

② 朝鮮半島で戦争状態が終結していない。

③ 日本の過去の侵略戦争と植民地支配への反省が欠如という歴史問題がある。

北東アジア固有の問題は、北東アジアの力で解決せねばならず、その方法は外交しかない。

◆ 「日中関係打開のための提言」

今回の「提言」では、日中関係打開のための、「三つの具体的対応」を提起してる。

① 双方が緊張と対立を悪化させるような行動を自制する。

② 尖閣諸島問題（釣魚島問題）では、紛争を激化させ、平和と安定に影響を与えるような行動を互いに自制するルールを取り決める。

③ 排除の論理ではなく包摂の論理で東アジアの平和の枠組みを追求する。

◆ 台湾問題

台湾海峡の平和と安定は、地域と世界の平和と安定に関わる重要問題。何よりも平和

的解決を強く求める。その際、台湾住民の自由に表明された民意を尊重すべきである。

「台湾有事は日本有事」と、「危機」を過大に煽り、大軍

に利用する動きは、軍事的緊張の悪循環、誰も望まない戦争リスクを高めることになり、それは厳しく退ける。

◆ 朝鮮半島問題

「対話による平和的解決」のため4つの提案をしている。

① 緊張のエスカレートを止めるための対話ルートを開くあらゆる努力を

② 非核化と平和体制構築を一体的・段階的に

③ 日朝平壤宣言にもとづく



司会は大阪 AALA 安井倫子さん

諸懸案の包括的解決

④ 「6カ国協議」の到達を踏まえ、解決の枠組みをつくる努力

4、第3の提言IIガザ危機とウクライナ侵略

◆ 国連憲章・国際法にもとづく解決を

「ガザへのジェノサイドを許さないーパレスチナ問題の公正な解決を」「どうやってウクライナ侵略を終わらせ、

欧州の平和と安定を回復するか」「『国連憲章を守れ』の

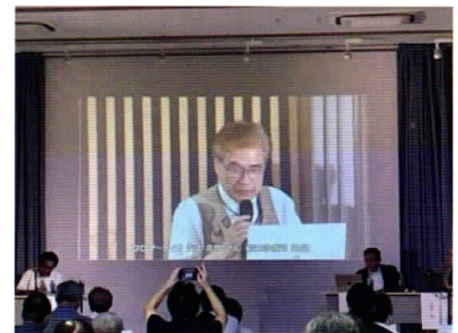
一点で世界の圧倒的多数の国ぐにの結束を」提起。

5、東アジアの平和構築のための国民的・市民的運動を市民社会によびかける

日本のみならず、平和の

国際連帯にも力をいれていきたい。パリ平和国際会議(2024・5・4でこの「提言」

を紹介したところ、強い歓迎の声があがった。北東アジアで軍事偏重の対応が目立つなか、排除、包囲・封じ込めのブロック化でなく包摂による外交を謳っている事への共感



大阪AALA代表委員、安達克郎先生（茨木診療所所長）が民医連有志による韓国緑色病院との長年の交流について報告。韓国緑色病院は労災職業病とのたたいから生まれた病院。

だった。会議では、ユーラシア大陸の東と西で軍事ブロック強化の危険な動きに反対する平和運動の連帯強化にとりくもうということが結論になった。

(畑山卓)



台湾・端午節とドラゴンボート

中国語で「ガンバレ」は「加油（ジャーヨー）」という。今日（6月10日）は旧暦の5月5日にあたる端午節。この日は祝日で、台湾人はみな粽を食べ、そしてドラゴンボート（龍舟）大会をする風習があるらしい。沖縄のハーリー、長崎のペーロンってところか。寮のスタッフの人に聞いたところ、地下鉄を乗り継いだ先にある河川公園で朝8時半から夕方までやっているという。ならば涼しいうちにと早起きして見物へ。大学や会社、また仲間どうしてチームを作って10人で漕ぐ。それもかなり長い距離を一気に漕ぎ切る。参加する市民の年齢層は様々。みな練習を積んできたのだろう、日焼けした肌とがっちりした腕がまぶしく映った。（武生栖夏）



世界の街から こんにちは！

海外旅行で出会った風景、外国滞在中に体験したこと。会員、読者の方からの投稿を随時掲載します。どしどしお寄せ下さい。



中国・周荘の電子マネー

6年振りの中国旅行。6月末の2泊3日、南京と蘇州・周荘を駆け足で巡りました。周荘は、明清時代の建築が残っている「水郷の町」としてよく知られた古鎮です。

この日は雨がしっとり降り、この町の魅力を引き立てていました。舟の櫓をゆったり漕ぎながら、自慢の喉を聞かせる船頭さん。観光客も多くなく、土産物店の人も猫ものんびり。

そんな風景の中になんだかそぐわなかったのが、電子マネーでの支払いです。お店のQRコードをスマホで読み取って、ピ！。「〇〇元受取りました」と自動的に音声が出て、お店のご主人がニッコリ。支払い終了です。全国的にQRコード決済が主流だとか。そういえば、タクシーもレストランも、駐車場もスマホで支払いでした。現金も使えますが、おつりの準備がないそうです。皆さんも中国に行く時にはスマホに電子マネーをお忘れなく。

（尾川理江）





7月4日、例年のごとく平和行進の昼の休憩地である大阪城公園教育塔の前でAALAの国際平和署名を集めました。平和行進参加者に「AALAが毎年取り組んでいる国際平和署名です」というと気楽に応じてくれます。この署名については知っている人が結構多く、認知度が上がってきているのかなと背中を押される気分になりました。大阪AALAの3人で45筆を集めることができました。

教育塔前での午後の出発前集会では、通し行進者の大村さんという女性の紹介がありました。東京からすでに2か月を歩き、行く先々で平和への思いをスピーチし、さらに歌まで披露しているというアピル性いっぱい女性です。あと1か月を歌ってしゃべって、核兵器廃絶を訴



右端が通し行進者の大村さん



えて歩き続けていく彼女を応援したい気持ちになりました。

午後からは大阪AALAの幟を掲げて、終点の旭区役所まで歩きました。半日だけの平和行進とはいえ、暑さの中で今年も歩けたことにほっとしました。来年は、体力と時間的余裕をつけ、通し行進とまではいかなくても、何日もかけて歩いてみたいと思いました。

(粕谷 武志)

英語で世界を読む会



8月例会 日時：9月10日(火) 午後2時～ 大阪AALA事務所
テキスト

How Americans Justify Political Violence

(The New York Times, July 20 2024)

*アメリカではなぜ、政治に暴力が付きまとうのか、歴史的な考察を行っている。

ふるってご参加ください。8月例会ですが暑さを避けて9月に行います。連絡下されば、テキストを送ります。
pichan5@hotmail.com 安井まで

■理事会日程■
8月21日(水) 第1回理事会14時～(AALA事務所)

文化欄 川柳

ヒバクシヤが平和行進

老いの身で

ダイヤ婚家族が揃う一九人

万博で危険にさらす

子どもらを

大阪市旭区 近藤 正



オスプレイいつ落ちるか

空見上げ

イスラエルガザで虐殺

米支持か

ベトナムに未だに残る不発弾

四条畷市 西川ひろし

大阪AALA へのお誘い

会費 月 800円(年 9,600円) (25才以下は年 3,000円) ※入会金 500円
*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円ずつご入金をお願いします。
*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)
Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪府中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F
TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coocan.jp/

機関紙・宣伝委員会

